



あいかわ 議会だより

第 156 号

平成30年2月15日発行

責任者 議会議長 小島 総一郎
年4回発行・本号14ページ



テーマ：「ぶらん子」(上熊坂公園) 撮影者：大本 行文様(中津在住)

議会改革推進特別委員会を設置

P2・10

農業委員会委員の任命など全5件の議案を可決

P2

12人の議員が一般質問 町政を問う

P4

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

〈第4回12月定例会〉

○発行/愛川町議会編集/広報広聴常任委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス gikai@town.aikawa.kanagawa.jp 町HPアドレス <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/>

2018

GIKAI

平成29年第4回愛川町議会「12月定例会」が、12月1日から会期15日間(本会議開催日4日間)にわたり開催され、条例の一部改正や補正予算など、4件の町長提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、議会改革推進特別委員会設置に係る議員提出議案1件を可決しました。

本号ではこれら「12月定例会」の内容を中心にお知らせします。

自治功労者表彰

山中正樹議員が、議会議員在職11年以上となり、平成29年11月9日に神奈川県町村議会議長会自治功労者表彰を受けました。



山中 正樹 議員

議会改革推進特別委員会を設置

◎特別委員会の設置

(賛成全員)

議会基本条例に規定している「議会の責務」を果たし、真に町民に開かれた議会を、より実現していくため、今後の議会のあり方や、運営方法等について、よりよい方向性を導き出せるような「議会改革」に関する調査などを専門で行う特別委員会を設置したものです。

(※詳細は10ページをご覧ください。)

人事議案

◎農業委員会委員の任命

(賛成全員)

委員の逝去により欠員が生じていたため、後任として次の方を任命することに同意したものです。

半原在住

天利 秀夫 氏

条例議案

◎愛川町税条例の一部改正

(賛成全員)

「地方税法」の一部改正に伴い、地域型保育事業等に係る固定資産税等の課税標準の特例割合を規定するとともに、被災住宅用地の申告等に係る規

12月

定例会

平成29年第4回12月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	1	金	本会議	農業委員会委員任命の同意、町長提出議案の説明
			総務建設 常任委員会	所管事務調査
			教育民生 常任委員会	所管事務調査
	5	火	本会議	一般質問 (6人)
	6	水	本会議	一般質問 (6人)
	15	金	本会議	町長提出議案の総括質疑・討論・採決、町長提出議案及び議員提出議案の説明・質疑・討論・採決
			広報広聴 常任委員会	所管事務調査

補正予算

◎平成29年度一般会計補正予算(第3号)

(賛成全員)

歳入歳出のそれぞれに2千895万3千円を追加し、一般会計の総額を120億9千286万7千円としたものです。

主な内容は、半縄地内の町道3840号線の舗装打ち換え工事費、高木化し密集している春日台第4公園のイチヨウの伐

事件議案

■損害賠償額の決定

◎交通事故に係る損害賠償

(賛成全員)

三増地内の町道において、公用車両を停車し、作業していたところ、サイドブレーキレバーが外

れて動き出し、側方を通過した相手方車両に接触し損害を与えたため、本町の義務に属する損害賠償の額を定めたものです。

損害賠償額
53万6千591円

「ご覧ください」 町議会ツイッター

町議会では、公式ツイッターを運用しています。

議会・委員会での活動など、様々なお知らせを積極的にツイートしますので、是非フォロー登録をお願いします。

スマートフォンからもご覧になれますので、左のQRコードをご利用ください。



議決一覧表(平成 29 年第4回(12月)定例会)

全会一致で可決、同意された議案名

議案番号	議案名
町長提出 第42号	農業委員会委員の任命について
町長提出 第43号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について
町長提出 第44号	平成29年度愛川町一般会計補正予算(第3号)
町長提出 第45号	損害賠償額の決定について(交通事故に係る損害賠償)
議員提出 第5号	特別委員会の設置について

陳情結果

件名	陳情者	付託先	審査結果
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤 交替制労働の改善を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広	—	机上配付
「介護労働者の労働環境改善及び処遇 改善の実現」を求める陳情	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 古岡 孝広	—	机上配付

陳情のゆくえ

議会だよりの写真を募集しています

愛川町議会では、「議会だよりあいかわ」の表紙や紙面に掲載する写真を募集しています。

町内の風景・風物など

季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙等を飾りませんか。

■応募資格 町内在住または在勤の方

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。

データの場合は、jpg形式で、データ容量は2メガ以上5メガ以下
プリントの場合は、2Lサイズ以上

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品のテーマ、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント写真の場合は郵送でお送りください。(随時受付)

【電子メールアドレス】
sikai@town.aikawa.
kanagawa.jp
【郵便送付先住所】
〒243-0392
愛川町角田251-1
愛川町役場議会事務局宛

■注意事項
・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。
・応募作品は、原則として返却しません。
・協議した結果、応募作品を掲載できない場合があります。

・編集上、写真をトリミングする場合があります。
・採用された写真の著作権は、町に帰属します。
・採用された写真は、応募者の氏名を表紙等に掲載します。希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。

・採用者への謝礼はありません。

こいは どづなるの

平和の町宣言 今後の決意は



山中 正樹議員

問

国会議員を中心に、改憲の議論が盛んになっています。背景として米朝緊張の高まりがあります。本町は平成7年に平和の町を宣言しています。そこで、平和への決意について伺います。

戦争の悲惨さ認識 核兵器廃絶に努力

町長 町民皆さんが戦争の悲惨さや平和の尊さの認識を深めていただきながら、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向け、基礎自治体としてできる努力を続けていきたいと考えています。

人口減対策に伴う 市町村合併の考え

問

人口減、高齢化に歯止めが掛からない中、再度の合併の動きが出てきています。本町も大きな公共事業が展開できない状況が続くなど、先行きに不透明感が漂っています。こうした情勢を鑑み、市町村合併についての考えを伺います。

財政は全国で高水準 自立する体力はある

町長 全国の市町村数は、平成11年では3232で、現在は791市、744町、183村の計1718です。その多くは財政的に自立が難しい人口1万人未満で、中山間地にあります。人口規模や財政状況において本町は全国町村の中でも高い水準にあります。自立できる体力はまだあり、町民の思いも強いと感じていることから、合併する考えはありません。

半原水源地跡地 用地取得の対応



井上 博明議員

問

半原水源地の跡地は現在、横須賀市の所有であります。その用地取得に向けた対応について伺います。

横須賀市と協議 年度内に協定を

町長 跡地本体の約3.5ヘクタールの権利関係については、現在、横須賀市と本町との双方で不動産鑑定を進めているところです。今後は、価格の決定をはじめ用地の取得に向けた協定の締結を年度内にするために協議しているところです。

「電動アシスト付自転車」 購入費助成制度の考え

問

山坂の多い本町において、高齢者の外出支援に寄与する一助として、電動アシスト付自転車を購入する際の購入費への助成制度を創設すべきと考えます。町の考えを伺います。

有効な移動手段 実態効果を調査

町長 電動アシスト付自転車の起伏に富んだ地形を考えると、高齢者にとつ



半原水源地跡地の用地取得へ

ては有効な移動手段の一つであると考えています。高齢者への支援の充実はますます必要になっていくものと認識をしています。利用実態や効果などを調査しながら、総合的に本町に合った高齢者移動支援方策について研究を進めていきたいと考えています。
〈その他の質問事項〉
地域経済の活性化について

**情報の収集を行う
運用形態など検討**

教育長 図書館利用サービスの向上につながることを認識しており、今後先進事例に係る情報収集を行うとともに、本町での導入の可能性や、運用形態などについて検討していきたいと考えています。

問 図書館購入費の新たな財源の確保と地元企業などのPRや、町民サービスの向上にもつながる有効な施策として、雑誌スポンサー制度を導入する考えについて伺います。

雑誌スポンサー 導入する考えは



岸上 敦子議員

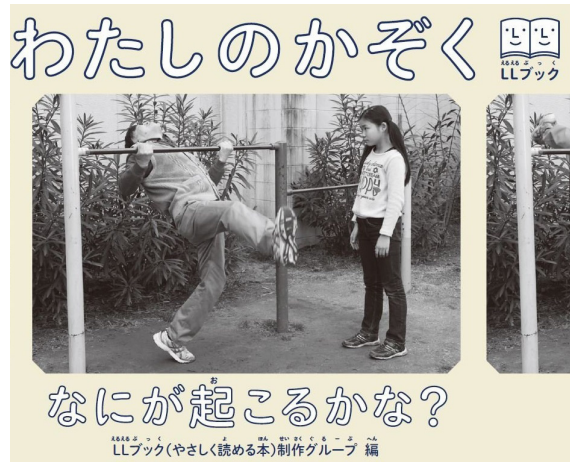
問 Lとはスウェーデン語で「やさしく読みやすい」を意味し、知的障がいのある人などへ読みやすく構成された本です。この本を図書館、図書室、学校図書館や特別支援学級へ導入する考えについて伺います。

「Lブック」
やさしく読みやすい本

関係団体意見伺う 活用について研究

教育長 日本では、Lブックの出版部数が少なく図書館・図書室の導入には、関係団体等から意見

見を伺うなど、利用ニーズの把握に努めることが肝要であると考えます。学校図書館・特別支援学級へは、愛川中学校に「わたしかぞく」なにか起こるかな?という書籍を購入し、支援教育の一助として活用しています。各小中学校の学校図書館の担当教員が集まる会議の中で情報共有を図り、Lブックの活用について研究していきたいと考えています。



学校にも置いてあるLブック

絶縁器具に枝葉 裸電線への接触

町長 角田大橋付近の電柱に装着してある陶器製の絶縁器具である碍子のカバーの中に樹木の枝葉が入り込み、電線の被覆されていない部分と接触したことが原因で停電が発生したことです。

問 昨年7月に停電が発生し、信号機が停止するなど、多くの影響がありました。電柱に樹木が接触したのが原因とのことですが、詳細について伺います。

昨年夏の停電 原因の詳細は



阿部 隆之議員

予想以上の売上 商品認知度向上

町長 各イベント時にお

問 愛川ブランドは、町内外へその魅力を発信することにより、さらなる消費拡大を図るとともに、町の知名度の向上、観光物産の振興、地域産業の活性化を図ることを目的としています。そこで、町主催の主なイベントにおける愛川ブランドの販売実績と効果について伺います。

愛川ブランドに認定されたことにより、売り上げや商品の認知度向上の面で、効果があつた旨の回答をいただいているところですが、

「愛川ブランド認定品」 販売実績と効果



役場庁舎でも愛川ブランドをPR!

学校給食費業務 公会計化の導入



渡辺 基議員

問

文部科学省で、学校現場の学校給食費などの会計業務にかかる教職員の負担を軽減するための検討が行われました。

そこで、本町での学校給食費公会計化導入の考えについて伺います。

人員等の課題有

動向注視し研究

教育長 公会計化の導入にはシステム導入や人員体制整備など、さまざまな課題があります。国や先進自治体の状況などを注視しながら、研究していきたいと考えています。

民生委員協力員制度の導入

問

近年課題となつていている民生委員のなり手不足と、負担軽減を図る手段として、民生委員活動を補佐、協力する「民生委員協力員制度」の導入の考えについて伺います。

います。

今のところ、民生委員さんから、本制度に係る具体的な要望等はまだお聞きしていませんが、今後、そうしたお話があれば、他市町村の実施状況なども踏まえながら、民生委員児童委員協議会と連携し、本制度について研究をしていきたいと考えています。

負担軽減の一手段

民児協と連携研究

町長 民生委員の負担軽減に向けた一つの有効な手段であるものと考えて

生息区域が拡大 ヤマビル対策



小倉 英嗣議員

問

ヤマビルについては、年々その生息区域が拡大し、最近では人家の庭に住みつくなどの被害も出てきています。

そこで、本町ではどのような対策を検討しているのか伺います。

宅地周辺でも確認 環境づくり進める

町長 最近では住宅地周辺でも生息が確認されています。

引き続きヤマビルが生息できない環境づくりを粘り強く進めていきたいと考えています。

耕作面積減少への取組み



耕作農地面積の減少の防止を

問

耕作面積については年々減少しています。本町における今後の取り組みについて伺います。

また、荒廃農地については、前年度より39・5ヘクタール減ったということですが、実際に耕作された面積について伺います。

農地集約化の推進

担い手の環境整備

町長 今後とも意欲ある農業後継者や新規就農者の確保に努め、農地の集積・集約化を進めるとともに、有害鳥獣対策につ

いても地域ぐるみの対策を強化していきます。

また、シニア層を含む多様な担い手の方々が農業に従事できるよう、環境整備に努めながら、遊休荒廃農地の解消に努めていきたいと考えています。

農業委員会事務局長 実際に解消された面積については分類をしていますので把握していただきます。

〈その他の質問事項〉
林道の管理について

給食事務の公会計化にはさまざまな課題

(7) **議会だより**

第156号

教育次長 生徒や保護者から、小学校と同様に温かいおかずの提供を求める声がありますことなどから、中学校給食の見直しをするための研究を始めたものです。

教育総務課長 全員が給食を食べることを前提として研究しています。

温かいおかず提供 全員喫食を前提に

問 中学校給食庁内研究会の目的は、小学校と同じ温かい給食を全員喫食することができる研究と考えてよいのか伺います。

中学給食研究会 目的の詳細伺う



小林 敬子議員



町営住宅の適切な管理

町長 入居者が入院等の理由により長期間にわたり住宅を留守にする場合には、あらかじめ入居者からの届出書の提出を義務付けています。こうしたことから、何

ら理由もなく長期間にわたり居住実態がない場合には退去指導を行うこととしています。現在、居住実態調査を進めているところであり、今後、契約者から事情聴取したうえで、居住実態がないことが明らかになった場合には住宅を明け渡し、退去するよう指導を行っていきたいと考えています。

《その他の質問事項》
志田山残土崩落について

事情聴取含め調査 退去の指導を行う

問 町営住宅入居の契約をしているが、実際に入居実態がないと思われる住宅への対応について伺います。

「町営住宅」 入居実態ない住宅の対応

自転車事故増加 安全教育の取組



佐藤 りえ議員

町長 町の保育園や小学校では、それぞれの発達段階を踏まえ、自転車のみならず広く交通安全教育を行っています。保育園では交通安全の基礎を、小・中学校では内容を工夫しながら交通安全教育を実施しています。

発達段階を踏まえ 保小中で工夫検討

問 自転車の交通事故については、対歩行者の事故が増加傾向にあります。そこで、幼児・児童・生徒の自転車安全教育の取り組みについて伺います。

**必要性などの周知
各種研修会を計画**

教育長 町では、校長会や各種研修会の場において、プログラミング教育とは何か、なぜ必要なのか、具体的に何をすればよいのか等、学校への周

問 2020年度から全国的に小学校でプログラミング教育が必修化されます。そこで、必修化に向けての取り組み状況について伺います。

プログラミング教育

知を図っています。

また、本年度、教職員向けに実施したグレードアップサマーズミでは、信号機と電気回路を活用した実演に基づく具体的なプログラミング教育の研修を取り入れました。

来年度においても、プログラミング教育に特化した研修会を計画しているところではあります。

《その他の質問事項》
「#7119」の普及促進について



街頭交通安全キャンペーンのようす

町総合交通計画
成果と課題伺う

鈴木 信一議員

問

「愛川町総合交通計画」の策定から10年が経過しました。成果と課題について伺います。

馬場バス停新設等
利用者増加が必要

町長 春日台団地止まりのバス路線の一部の便を愛川バスセンターまで延伸したほか、馬場バス停の新設などの実現を図ってきています。

企画政策課長 いかにして利用者を増やしていくかが大きな課題として認識しています。

選挙権保障と環境整備

問

障がい者や高齢者には選挙権を保障するための、きめ細かな対策が必要です。視覚障がい者への選挙公報について伺います。

また、第10投票所の出口が階段で危険なため、誰もが安心して投票できる環境を整備する考えについて伺います。

また、第10投票所の熊坂児童館については、出口が階段になっており、手すり等がない状態となっています。高齢者や体の不自由な方等に配慮した投票環境の整備に向けて対応を検討していきたいと考えています。

音声版公報を配布
高齢者等配慮する

町長 視覚障がい者の方

運転免許返納後
循環バスの今後

佐藤 茂議員

問

高齢者の運転免許返納後の移動手段について心配する声があります。そこで、町内循環バスの今後の運行について伺います。

公共交通の支援策

検討の必要を認識

町長 高齢化が進む中で、公共交通利用にかかわる支援策を考えていく必要があります。

今後の社会情勢等を見きわめながら、町内循環バスのあり方についても検討していく必要があると認識しています。



重要な移動手段である町内循環バス

半原水源地域点づくり構想

問

町では、半原地域における観光・産業連携拠点づくり構想を策定しました。そこで、今後のスケジュールについて伺います。

取り組んでいきたいと考えています。

また、翌年度以降の取り組みとしては、活用方策の絞り込みを踏まえ、さらに詳細な事項について整理するために、建築物等に関する基本計画の策定をはじめ、造成

横須賀市との締結
地域との連携構築

町長 現在、半原水源地域の権利関係については、横須賀市と本町との双方で用地の取得などに向けた協定の締結などに

計画の策定、参入事業者の選定、地域との連携組織の構築などを予定しています。



第10投票所の熊坂児童館

**職場体験実施
展開と見通し**

木下 眞樹子議員



問 町ではキャリア教育推進事業として、中学校2年生を対象に、職場体験を実施しています。

そこで、今後の展開と見通しについて伺います。

**地域学習や職業講和
社会に開かれた教育**

教育長 事業所には、職場体験のみならず、小学校での地域学習や、中学校での職業講和などにより、9年間を見通した社会に開かれた教育課程の中で、一層協力いただけたような事業を展開していきたいと考えています。

手づくり品の出店機会

問 町内には町のPRとなるようなすばらしい作品を個人で制作している方がいますが、出店する機会がなく、機会の提供を待ち望む声があります。

そこで、個人による手づくり品を出店する機会を提供する考えについて伺います。

**新たな資源を発掘
可能な限り努める**

町長 町民皆さんの手づくりによる製品については、町の新たな資源とな



消防での職場体験のようす

り得る可能性を秘めているものと認識しています。

町では、農林まつりなどで出店の場を設け、小物雑貨を手づくりしている団体にゲスト出店をしていただいたところでは、人知れず埋もれていた資源が発掘され、まちおこしにつながった事例は全国的にも数多くあります。今後とも可能な限り出店機会の提供に努めていきたいと考えています。

**選挙公約や政策
進捗と実施状況**

熊坂 崇徳議員



問 町長就任から3年半となりました。公約や政策の進捗状況及び実施状況について伺います。

**医療費助成の拡大
健康推進に努める**

町長 15項目の公約を掲げ、小児医療費助成の拡大をはじめ、出産祝い金や、育児用品購入助成の見直しを図り、子育て支援の充実に努めました。

また、健康増進事業では健康のまち宣言を契機に、未病センターの開設や健康ポイント事業など健康推進に努めました。

環境美化条例後の変化

ごみゼロ・クリーンキャンペーン

問 平成24年4月より「愛川町みんなを守る環境美化のまち条例」が施行されました。

そこで、条例の施行前後の町の環境美化と町民等の意識の変化について伺います。

**ごみ回収量の減少
町民の意識は高揚**

町長 毎年5月下旬に実施している「ごみゼロ・クリーンキャンペーン」では、回収されたごみの回収量は施行前の平成23

年度が13・25トンであったのに対し、平成29年度は7・44トンまで減少しました。

また、犬のふんの放置が頻繁に発生した複数の地域から苦情が寄せられなくなったことや、自販機には回収容器が適切に設置され、ポイ捨ての防止が図られています。

このように、条例の施行に伴い、町の環境美化は向上し、町民意識の高揚が図られているものと認識しています。

個人総括質疑

12月15日の本会議では、条例及び補正予算議案に対し、岸上敦子議員、佐藤茂議員、鈴木信一議員が質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

〈条例関係〉

○愛川町税条例の一部を改正する条例

- ・固定資産税等の課税標準の特例割合の追加による収収の影響について
- ・軽自動車税の特例税率の追加による収収の影響について

〈補正予算関係〉

○出張所維持管理経費増額

○交通安全施設整備事業費

○公園施設維持管理経費（一般分）増額

・増額の詳細について



○児童館施設整備事業費増額

- ・六倉児童館を整備対象とした理由について
- ・整備対象児童館の優先順位について
- ・行政区との負担割合について

議会改革推進特別委員会を設置

町議会では、議会基本条例に規定する議会の責務を果たし、真に町民に開かれた議会を、より実現するため、議会のあり方や運営方法などについて調査する「議会改革推進特別委員会」を12月15日の定例会最終日に設置しました。

本特別委員会の調査状況は、今後議会だよりに随時掲載していきます。



議会改革推進特別委員会のようす

調査状況（平成29年12月から平成30年1月）

会議開催日	協議内容
12月15日 (第1回)	・正副委員長の互選 ・今後の委員会活動について
12月19日 (第2回)	・議会改革項目の優先順位について (平成30年度予算に関する事項)
1月15日 (第3回)	・議会改革項目の優先順位について ほか

(委員定数6人)

委員長	熊坂 弘久
副委員長	木下 眞樹子
委員	岸上 敦子
委員	鈴木 信一
委員	渡辺 基
委員	小倉 英嗣

※ほかに、正副議長がオブザーバーとして参加

ドローン購入事業を調査



1月16日（火）に、高規格救急車及び資器材購入事業、有害鳥獣対策事業等について現地調査を行いました。

また、洪水ハザードマップ印刷費、ドローン購入事業について説明を受けました。

総務建設常任委員会

常任委員会1月所管事務調査

地方分権の進展に伴い、行政が行う事務が専門化している中、各常任委員会が所管する事項について調査するため、所管事務調査を実施しました。

教育民生常任委員会

1月26日（金）に、ふれあいショップ「希望」、ICT教育推進事業等について現地調査を行いました。

また、健康ポイント制度、要保護・準要保護児童就学援助事業について説明を受けました。



有害鳥獣対策事業について調査



要保護・準要保護児童就学援助事業の説明



ふれあいショップ「希望」の調査

議員研修会

■神奈川県町村議会議員研修会

平成29年11月9日（木）

に箱根町仙石原文化センター（仙石原公民館）において、神奈川県町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が次のとおり開催されました。

講師

食環境ジャーナリスト

金丸弘美氏

研修テーマ

「『地元』の力く地域力創造7つの法則」

■愛甲郡町村議会議員研修会

平成30年2月1日（木）

に、町役場庁舎分館会議室において、郡町村議会議員研修会を次のとおり開催しました。

講師

関東学院大学法学部

地域創生学科准教授

牧瀬 稔氏

研修テーマ

「議会改革について」



愛甲郡町村議会議員研修会のようす

意見交換会を開催します

町議会では、議会基本条例に基づき、「広く町民の声を聴く議会」「町民とともに歩む議会」「町民参加を基本とする開かれた議会」を目指し、昨年度に引き続き、町民と議会との意見交換会を次の日程で開催します。是非ご参加ください。

意見交換会のテーマは今後、ホームページなどでお知らせします。

■日時及び場所

5月11日（金）午後7時
町文化会館（3階会議室）



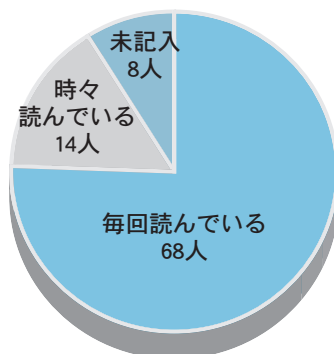
昨年の意見交換会のようす

議会だより・議会に関するアンケートの結果

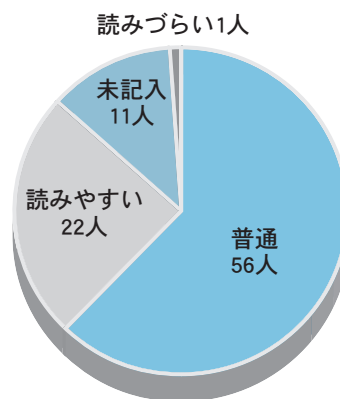
平成 29 年に開催した 4 回の議会定例会を傍聴された方々や議会との意見交換会に参加された方に「議会だより」についてアンケートをお願いし、延べ 90 人の方から貴重なご意見等をいただきました。



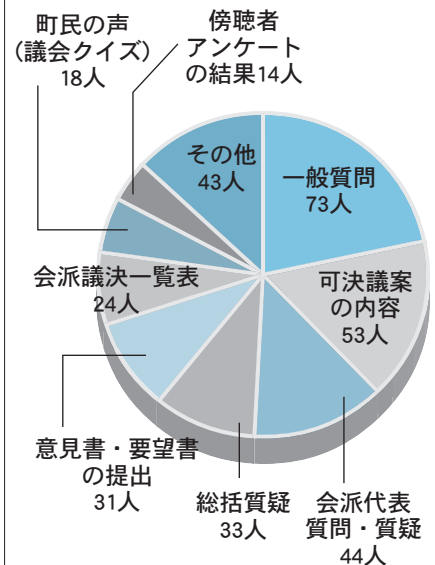
「議会だよりあいかわ」を読んだことがありますか？



紙面のレイアウト構成について



おもにどの記事を読んでいますか。(複数回答可)



〇取り上げてほしい記事や企画、レイアウトに関するご意見

- ・町の観光対策の取り組みなどについて
- ・獣害対策（シカ・イノシシ）、ヤマビル情報（分布状況）と対策
- ・小田急多摩線延伸に関する進捗状況について
- ・商店などをPRできたらいいと思う
- ・一般質問で「その他の質問事項」が列記してあるが、その質問内容を読みたい項目がある
- ・文字数が限られていることもあるが、読みづらいときもある など

議会クイズに応募があった方からのご意見

議会クイズについては毎号多くの皆様から応募をいただきました。その中で、議会だよりの感想や貴重なご意見をいただきました。内容の一部をご紹介します。

(152号(第2回議会クイズ)から155号(第5回議会クイズ)まで)

議会だより全部読みました。特に一般質問のところ...選挙の時にしかお会いしない人達が一生懸命町民一人ひとりの為に頑張っておられることがわかりました。これからも頑張ってください。(女性)

クイズ応募により、じっくり読まなくては答えられないので、これは大変よいことです。機会があれば、議会の傍聴をしたいです。(男性)

高齢者にもっと力を入れて下さい。表紙の写真に惹かれて毎号読ませてもらっています。(女性)

他県等から移住してきた方等、町の行政についていまいち理解がない方でも興味をもって目を通せるよう、わかりやすい紙面の構成をお願いします。(男性)

議員からの質問で、もっと町民が関心ある内容を取り上げて欲しいです。分かなければ、自ら動いて耳を傾けるのも必要だと思う。(女性)

初めて全てのページを読みました！色々知らないことが沢山書いてあって勉強になりました。あいちゃんのお披露目から6年たつんですね☆これからも頑張ってください！(女性)

「質問ここはどうなるの」のコーナーを楽しみに読んでいます。子どもがいる為、特に教育の面が気になります。沢山、課題はあると思うので、今以上に議論して欲しいです。(女性)



広報広聴常任委員会で議会クイズの当選者を抽選
(左から山中委員、熊坂崇徳委員長、阿部副委員長)

貴重なご意見
ありがとうございました。
これからも
たくさんのお応募を
お待ちしております。

ご覧ください
会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、12月定例会の会議録は、3月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

次回定例会

次回、3月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、2月20日(火)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成30年 第1回3月定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
2	28	水	本会議(施政方針・提出議案の説明)
	1	木	本会議(一般質問)
	2	金	本会議(一般質問)
	6	火	本会議(個人総括質疑)
	8	木	本会議(会派代表質問)
	12	月	総務建設常任委員会、教育民生常任委員会
3	13	火	総務建設常任委員会
	14	水	教育民生常任委員会
	15	木	総務建設常任委員会
	16	金	教育民生常任委員会
	19	月	総務建設常任委員会
	23	金	本会議(委員長報告・討論・採決)

会議録設置施設

- 役場町政情報コーナー
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者に音声テーパー化されています。
ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
(内線3792)

第5回
議会クイズの
答えと当選者

前回の第5回議会クイズは18名の方から応募がありました。正解と当選者は次のとおりです。

〔正解〕

問1 ②2件

問2 ③広報広聴常任委員会

問3 ①茨城県美浦村議会

〔当選者〕

辰口 桂子 様

中溝 桂子 様

溝越 ゆかり 様

ぜひ傍聴にお越しください!

第6回 議会クイズ

問1 12月15日の定例会最終日に「議会改革」に関する調査などを専門で行う委員会を設置しました。委員会名は次のうちどれでしょうか?

- ①議会特別委員会 ②議会推進委員会 ③議会改革推進特別委員会

問2 議会だより・議会に関するアンケートの結果、「おもにどの記事を読んでいますか?」との回答で一番多い回答人数が73人でした。その内容項目は次のうちどれでしょうか?

- ①可決議案の内容 ②一般質問 ③総括質疑

問3 今号より議会だより編集委員会から、広報広聴常任委員会が議会だよりの編集担当になりました。広報広聴常任委員は全員で何人でしょうか?

- ①9人 ②10人 ③11人

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 2月28日(水)(郵送の場合は当日消印有効)

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

☆正解と当選者は次号で発表します。



編集後記

本号より議会だより編集委員会から、広報広聴常任委員会が議会だよりの編集担当になりました。

新体制になり、議会だより編集だけではなく、町民や自治会・各種団体との意見交換会や議会ホームページの充実、ツイッタの発信などこれまで以上に広報広聴に努めていきます。

開かれた議会を目指し、町民の声を町政へと届けるよう委員一同力を尽くしてまいります。

広報広聴常任委員会

委員長 熊坂 崇徳
副委員長 阿部 隆之
委員 岸上 敦子
委員 鈴木 信一
委員 佐藤 りえ
委員 佐藤 茂
委員 山中 正樹
委員 木下 眞樹
委員 小林 敬子
委員 馬場 司